



らくじ通信発行にあたってごあいさつ



らくじ会グループ  
会長 森山 斗福



社会福祉法人 楽慈会  
理事長 森山 朋子

平成二十六年度、『らくじ会グループ』は京終の地にて新たに『社会福祉法人楽慈会』で「グループホーム らくじの杜 十八床」、「青春倶楽部（リハビリ特化型デイサービス）十名定員」「シニア倶楽部（認知症対応型デイサービス）十名定員」を開設し、大きく飛躍します。まずハード面を充実させ、多様なサービス提供を展開する事により、新たな利用者様のニーズに対し、グループ内で包括的な対応が可能となりました。またグループ内で利用者様の情報を共有することにより、その利用者様に合った個別性の高い暮らしや生活のサポートの充実に繋がられました。

これからも『らくじ会グループ』は利用者様・入居者様に対し毎日が充実した生活の場となっていくために、社内研修を充実させ、技術・知識的にもレベルアップし、職員一同一丸となり『心』あるケアを大切にしていきます。

今回の機関紙発行にあたり、私達『らくじ会グループ』の活動を継続的にご紹介していく事で、その想いを皆様にお届け出来ますことを大変嬉しく思っております。

これからもこの『らくじ通信』と共に、『らくじ会グループ』をご愛顧頂きますよう、よろしくお願い致します。

目次

- 機関誌発行にあたってごあいさつ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
- グループホームらくじの杜・在宅介護相談センター・・・・・・・・・・・・・2
- 楽慈会シニア倶楽部・青春倶楽部・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
- らくじクリニック・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4
- 新年会について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5
- 施設内行事について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6
- 厨房の取り組み・阿波踊りへの参加・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7
- 奈良マラソンへの挑戦・学園前の紹介・編集後記・・・・・・・・・・・・・8

発行者：特別養護老人ホーム らくじ苑  
連絡先：奈良市八条5丁目437-11 0742-30-1800

平成二十六年四月より『グループホームらくじの杜』、五月よりデイサービス

『楽慈会 青春倶楽部』『楽慈会 シニア倶楽部』を新たに開設いたしました。

### グループホーム らくじの杜

『グループホームらくじの杜』は奈良市南京終町のケアハウスらくじ苑の南側五軒挟んだ線路沿いに平成二十六年四月に開設しました。

グループホームとは認知症と診断された高齢者が専門の介護スタッフの支援を受けながら、一つのユニット（五〜九名）で共同生活を送ります。

入居者様の能力に応じて料理や掃除など生活において役割分担しながら生活をする場所で、いわゆる家庭的な雰囲気です。生活する事が出来ます。らくじの杜は2ユニット十八名の方が、入居し生活して頂いています。



建物は三階建て構造となっており二階は『若葉ユニット』、三階は『蕾ユニット』という名称です。若葉と蕾という名前にしたのは、新しく施設が開設し、これから成長していくという意味を込めております。

開設してまだ若い施設ですが、お客様に支えられ、立派な施設へと成長していく事を願い、スタッフ一同日々精進していくのみです。



|      |              |
|------|--------------|
| 名称   | グループホームらくじの杜 |
| 設置主体 | 社会福祉法人 楽慈会   |
| 所在地  | 奈良市南京終町一九    |
| 開設   | 平成二十六年四月一日   |
| 定員   | 2ユニット十八名     |

### デイサービス 楽慈会 青春倶楽部 楽慈会 シニア倶楽部

平成二十六年五月一日、らくじ会グループでは京終、八条の既存のデイサービスとは異なる特化型のデイサービスを二店舗同時に開設しました。

リハビリ特化型デイサービスの『楽慈会青春倶楽部』と、認知症特化型デイサービスの『楽慈会シニア倶楽部』です。在宅介護相談センターの二階がシニア倶楽部、三階が青春倶楽部です。

『楽慈会シニア倶楽部』は十名程の少人数制の通所介護となっており、認知症ケア専門士が利用者様と向き合い、一緒に過ごす事で利用者様お一人ずつの役割を果たして頂き、社会の一員として生きがいを感じて頂く事を目指し、食事の準備をスタッフと一緒にしたり、学習療法や



学習療法や



回想療法などを取り入れた個別のプログラムによるレクレーション活動も行っています

『楽慈会青春倶楽部』ではリハビリに特化し、専用のマシンを使い、体力に自信がない方でも無理なく安心して運動することが出来る環境を整えております。またマシン以外にも理学療法士や作業療法士による、リハビリ作業療法、温熱療法もご利用出来ます。

『楽慈会青春倶楽部』では機能訓練を中心としているために、午前・午後の二部制とし、基本的に食事と入浴のサービスはご利用頂けません。希望に応じて二階シニア倶楽部や京終のデイサービスでの食事や入浴サービスのご利用もご相談させて頂きます。



名称

楽慈会・青春倶楽部

楽慈会 シニア倶楽部

設置主体 社会福祉法人 楽慈会  
所在地 奈良市南京終町十九、一  
開設 平成二十六年五月一日

### 在宅介護相談センター らくじ苑

在宅介護相談センターらくじ苑は、らくじ会グループの在宅サービスの中核を担っており、平成二十四年四月に開設しました。開設当初は南新町のらくじクリニックに隣接していましたが、平成二十六年四月に南京終町のらくじの杜に隣接する場所へ移転しました。

在宅介護相談センターらくじ苑では、居宅介護支援事業所として訪問介護やグループ内四か所のデイサービスの利用案内やグループ内入居施設への入居案内をそれぞれの方のニーズに合わせて案内させて頂きます。訪問介護においては、『定期巡回随時対応型訪問介護・看護』をご利用頂けます。当サービスは介護度が重度な方など要介護状態にある高齢者の在宅生活を支える為、昼夜を通して訪問介護と訪問看護の密接な連携で定期巡回と随時の対応を行なっていくサービスです。一日複数回その方のご要望や生活リズムに合わせた巡回

を行い、ケアコールを押せばいつでも相談出来たり、ヘルパーや看護師が訪問させて頂き、住み慣れた自宅で安心した生活を送って頂く事が可能です。

またお泊りデイのサービスもご利用頂けます。急な用事等でショートステイが利用出来ない場合や、家族様のご都合による急な利用にも対応出来ます。

介護保険外のサービスとなりますので単位数の心配がありません。また無料体験も随時で受付けておりますので、安心してご利用頂けます。

名称 在宅介護相談センター

らくじ苑

設置主体 社会福祉法人 楽慈会

所在地 奈良市南京終町十九、一  
開設 平成二十四年四月一日



## らくじクリニック

### 【医科部門】

らくじ会グループではかねてより計画していた医療法人の設立と医療機関の開設を平成二十四年四月一日に果たすことが出来ました。

開設したらくじクリニックには長年、中登美診療所で地域医療に携われた近藤雄二先生を院長として迎え、グループ内各施設の入居者様ならびに利用者様の健康管理に努めさせて頂いています。

当クリニックは地域に密着した温かな医療を提供する事を第一の目標にしています。地域のニーズに応じた安全で良質な医療の提供を目指し、地域の皆様の疾病予防と健康維持に努め、社会貢献していきたくと考えております。診療方針としても患者様ひとりひとりを大切に診療し、地域の皆様に頼られるクリニックを目指してまいります。



#### 【近藤雄二院長ご紹介】

近藤雄二院長は昭和五十年三月に京都府立医科大学を卒業され、同年四月から京都府立医科大学付属病院、滋賀県の近江八幡市民病院で勤務し、

米国のテキサス大学医学部や国立奈良病院（現在の市立奈良病院）で勤務されました。

平成八年三月に奈良市中登美が丘に中登美診療所を開設し、地域の小学校の協力医療機関を努めるなど地域に根付いた医療を展開し平成二十四年四月より『医療法人 楽慈会』の理事長に就任され、『らくじクリニック』の院長に着任されました。

### 【歯科部門】



平成二十六年四月、それまでクリニックに隣接していた在宅介護相談センターの跡地に歯科部門を開設しました。以前までもらくじ会グループでは歯科に関しては往診という形で、入居者様・利用者様の口腔ケアや健康管理に努めて参りましたが、

グループで歯科医師を迎え、医科部門とも連携し、入居者様・利用者様によりきめ細やか



健康管理を行っていきたくと考えております。

歯科部門のスタートにあたり平成十七年よりらくじ会グループの各施設で歯科診療をして頂いた西清満歯科医師と、新たにらくじ会にお勤め頂くことになった山本郁代歯科医師をそれぞれ迎えました。

現在らくじ会で歯科診療を受けておられ

ない方へ無料の歯科検診と

無料の口腔ケアを実施させて頂き、必要に応じて、継続して

口腔ケア等を実施しております。

口腔内の健康を保つことは、体全体の健康を保つことに直接つながります。らくじ会では

このような医科と歯科の連携で皆様の健康管理を継続して行っています





# 毎年恒例、らくじ会グループ新年会を開催。ホテル日航奈良にて、グループの

## 職員総勢百八十名で実施しました！！

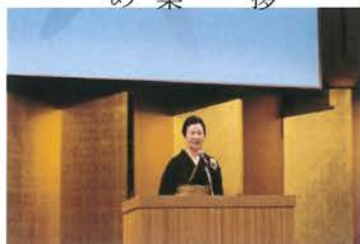
### らくじ会グループ 新年会

時は平成二十六年四月十一日（金）総勢百八十名のらくじ会グループ職員が、ホテル日航奈良に集いました。

穏やかな雰囲気の中、普段と違う一面が会間見えました。今回は二部制にて行い、一部では開会宣言の後、新入社員を歓迎激励する入社式、昇任者の発表、人事異動報告を行いました。

二部では乾杯後にグループ内の沿革紹介から始まり、らくじ会のこれまでの歩みや新規事業の報告、各施設の年度計画の発表資格取得や結婚出産の祝い、社内での部活動の報告を行い、今年度新卒者の余興を行いました。

新年会と言えばまず、森山理事長の挨拶より開始となります。森山理事長よりお言葉を頂き職員一同、改めて気を引き締め一つ



一つの言葉に耳を傾けていました。まさに皆が一体感になっているのを感じました。

今回からは入社式も同時に行われ、この二十六年度は四名の新入社員が入社し、壇上からは彼らの緊張している様子が伝わってきました。らくじ会グループの入社式では名物となっている『意気込みの書』の披露と個々の抱負を掲げ、新社会人として華々しくスタートを切りました。



引き続きの二部は

近藤院長の挨拶ならびに乾杯の合図で開幕。

昇任・昇格者の表彰と結婚・出産報告を行い各拠点ごとの年度計画発表と続き、後述しますが、現在らくじ会として挑戦している阿波踊りと奈良マラソンについて、活動発表を行いました。

程よく皆が陽気な雰囲気浸っていたとこ



ろで、新入社員と先輩社員による余興を披露。新入社員も先程とは一転、緊張もほぐれ笑顔でとても楽しんでる様子で、会場内が一番盛り上がった瞬間だったのではないのでしょうか。来年度も楽しみです。

さて宴はいよいよクライマックスを迎えることとなり、森山会長より閉幕の挨拶を頂き、和やかな



雰囲気のまま、無事に新年会は終了となりました。いつもは別々の施設で働いている職員達がこの場で皆一丸となっていたのは印象的でした。グループを盛り上げるという結束が生まれた様に感じました。



らくじ会グループでは季節の行事や節目のお祝いもすべて手作りです。

## ★ 苑内行事の紹介 ★

らくじ会グループではそれぞれの施設で、季節に応じた各行事を実施しております。四月にはお花見に行きました。

今年は平年より桜の開花も早く、また三月下旬ころより一気に暖かくなったこともあって、一気に満開になりました。

桜は冬場の冷え込みと春先の気温上昇で花芽の育成や開花の時期、花の咲き方まで決まるとの事で、今冬は二度の積雪もあり充分強い冷え込みがあったため平年より綺麗に桜が咲きそろいました。

入居者様・利用者様も外の空気を吸い、とても喜ばれ、笑顔も満開でした。



春季は外出に適した季節ですが、夏になり暑くなると次第に施設内での行事も増えてきます。次号でも引き続き季節の行事について紹介させていただきます。

## ★ お祝い行事の紹介 ★

らくじ会グループの全施設では、それぞれご入居またはご利用頂いている方に対して節目となるお歳をお迎えになった際にグループをあげてお祝いの行事を催しております。

現在八十八歳の『米寿』、九十九歳の『白寿』、百歳の『百寿』をそれぞれお祝いさせて頂き、特に『白寿』に関してはご本人様、ご家族様はもちろんの事、グループ内でも各拠点責任者も出席させて頂いております。

白寿祝いの際は料理にも力を入れ、その方が好きなものを真心こめて盛大にお作りいたします。設えもスタッフが手作りし、節目のお祝いを一生の思い出に残る形で演出させて頂きます。





らくじ会では自社で厨房のシステムを構築し、おいしい料理を入居者様・利用者様にお届けします

また『阿波踊り』や『奈良マラソン』などへの挑戦で地域活動や行事に積極的に参加しています

## 厨房での取り組み

らくじ会グループでは現在セントラルキッチン方式を採用し、各拠点へクックチル配送を行い、すべての施設へ食事提供を行っています。セントラルキッチン方式の採用以外に各拠点ごとに責任者を配置し、食事の質の向上や技術指導などを行っています。

また入居者様・利用者様により嗜好も異なりますが、味の五味（甘味・酸味、塩味、苦みうまみ）を意識し、一つ一つの料理に味の変化を持たせるよう努めております。

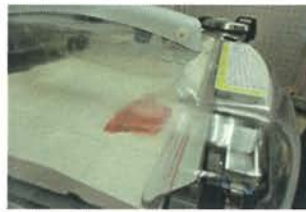
献立に関しては出来るだけ手作りにこだわります。また四季を感じて頂けるように旬の食材を使用した食事提供を行っています。

今年度からは新しい事業の開設とともに、各拠点では入居者様・利用者様にご好評頂いている赤飯を毎月初めに提供したり、また各苑の厨房スタッフが集まり、調理実習を行い調理について、互いに知識や技術を深め合う研修体制も整えております。他にも取り組みとして、真空パックを使用した調理方法を行

っています。専用の機械を使用し、野菜などの材料と調味料を入れておよそ一分で真空状態になります。真空にすることで



味が芯まで染み込み、また食材が外気に触れることなく、保存する事が可能となります。冷蔵庫だとおよそ一週間、冷凍庫であればおよそ六か月間保存可能です。



また調味料の使用量も抑えることが出来、コストカットにも繋がります。

今後らくじ会グループでは、この真空調理システムやそのレシピをより確立させることで、どのスタッフでも簡単にかつ短時間で大量調理が出来るようになり、味の均一化を図る事も可能です。あらゆる工夫を行い、限りある素材を十分に使い、食を通じて様々な喜びや楽しみを感じて頂けるよう、努めてまいります。



## 阿波踊りへの参加

らくじ会グループでは平成二十四年度より徳島県にある社会福祉法人東紅会様とのご縁で『徳島阿波踊り』に参加しています。

今年度はグループ内より総勢三十一名が八月十三日の本番に参加する予定で、五月より毎週二回の練習機会を設け、それぞれ練習に励んでいます。もちろんほとんどのスタッフは踊りが初体験で、踊りの型をこれから覚えるという事で四苦八苦している状況ですが、皆一生懸命に目標に向かって突き進んでおります。

今年らくじ会は単独の連で踊ります。昨年新調した法被を身に纏い、らくじ会が徳島の街を鮮やかに練り歩く姿をぜひ一見してもらえればと思います。



上：昨年の本番の様子

下：今年の練習風景



## 奈良マラソンへの挑戦

らくじ会グループが熱いのは夏だけではなくありません。冬は底冷えのする奈良ですが寒さが次第に厳しくなる師走の最中、地元奈良が一番盛り上がるイベントが開催されます。この平成二十六年で五回目を迎える『奈良マラソン』です。らくじ会は昨年この奈良マラソンにおいて、七名のランナーがそれぞれ十キロと三キロを走り、また隣接するエキスポ会場ではらくじ焼き屋台の出店も果たしました。

『らくじ焼き』とは、キャベツ焼きに味付したスジ肉などの具材を混ぜて焼いた物で昨年は『元祖はいばら肉 うし源』様とのコラボ企画として、『はいばら肉のスジ肉入り』で販売致しました。



今年六月時点で総勢十八名のランナー（内訳はフルマラソン二名、十キロ九名、三キロ七名）が出場予定です。また昨年に引き続きらくじ焼きの屋台出店も計画しております。

現在参加予定のランナーはエントリーを済ませ、月二回鴻池運動公園で行われている合同練習に各自参加し、着々と体力づくりに励んでおります。

らくじ会ではこのような形で今後も地元奈良に根差した企業を目指すべく、様々な挑戦を続けて参ります。一人でも多くの方にらくじ会の名を知ってもらえるよう、これからも挑み続けます。

## らくじ会の今後の展開

現在らくじ会グループでは奈良市内に入居施設五件、クリニック一件、デイサービス四件、居宅介護支援事業所二件、ショートステイ、訪問介護ステーション、配食サービスをそれぞれ一件ずつ有しております。事業所の所在地はほとんど市内中心部に位置しており、その地域の方々のニーズにあったサービス提供を続けてきました。そして今秋、奈良市学園前に居宅支援事業所とデイサービスの開設を計画しております。奈良市

の西部地域には初めて進出を予定しており、今までのらくじ会の地盤とはまた違う客層やニーズがあると思います。

※学園前の事業所開設予定地



学園前は奈良市民にとって住むことがステータスとされるまさに高級住宅街。それでもらくじ会は挑み続けます。この学園前にもらくじ会の名が響き渡るまで。

## 編集後記

平成二十六年度のスタート共にらくじ会新たな挑戦が目白押しです。この機会に機関誌の発行に携われたことにはとても感謝しております。

まだまだ未熟な広報誌ではありますが、読者の皆様の多大なるご支援を願って止みません  
らくじ会 広報交流委員会